2014（平成26）年11月（第四号）発行／菊地たかよし事務所

斬り込む。変える。ジ・エフェクティブ

※ effective…効力のある、有効な、印象的な。【軍】実兵員、実兵力。

仙台市議会議員（若林区）菊地崇良 市政活動報告

THE EFFECTIVE

HOT NEWS バス路線再編案見直し、廃止予定路線の一部存続が実現

バス路線再編に対する市民の切実な声を、市に繰り返し訴えてきました

（2014年2月21日 第1回定例会 一般質問、同4月21日 都市整備建設委員会、同6月19日 第2回定例会 一般質問、ほか）

菊地

地下鉄東西線開通に伴って行われる公共交通体系の再構築、とりわけバス路線の再編に関しては、『以前より却って不便になる』『採算性重視で、市民に地下鉄利用を強要するものである』『まちづくりの観点からも、地域の賑わいや交通に混乱をもたらす』等々、不満の声が大変大きい。市民の切なる声にしっかり耳を傾け、特に**高齢者の生活・医療に直結する現行バス路線の一部継続・存続**や、朝夕の通勤通学等を考慮した**時間帯に応じた路線編成等**、全市的バランスの観点に立ちつつ柔軟な取り組みによって、再編を見直すべきである。

見直し案

- **新寺、連坊、川内地区**について、現状より減便の上**運行が存続**
- 一部の地下鉄駅結節便（薬師堂駅経由等）について、**都心部直通運行**を設定
- 一部の地域で、**市立病院や区役所等への利便性に配慮**して運行
- 一部の地域で、**運行経路の見直し・若干の運行数増便**

【市営バスの路線に関するお問い合わせ先】
交通局輸送課 ☎ 022-712-8321

▲上図は、平成26年10月26日 河北新報 朝刊広告より

【資料について】…市民説明会の他、市役所本庁舎1階市政情報センター、区役所総合案内などで配布しています。（市ホームページ上でも公開中）

再編で留意すべきポイントは

（2014年6月19日 第2回定例会 一般質問 ほか）

菊地

交通体系の再構築にあたっては、①防災集団移転により新たに形成される街区との連接、②区役所や市民センターといった地域コミュニティ施設へのアクセス性、③地域経済振興を図るための沿線地域の人・モノ・金の好循環維持等にも留意し、採算性も踏まえつつ段階的に運用するなど、総合政策的見地から分析検討すべき。

市長

バス路線再編は、本市のまちづくりにおいて骨格的な交通再編に繋がる、市民の暮らしのありようにまで及ぶ重要課題である。ご提示のあった工夫すべき各ポイントを見きわめながら、再編をとりまとめて参りたい。

平成26度前半の市政活動の概要、仙台市の主要施策等について、抜粋してご報告いたします。

皆様からのまちづくりに関するご意見をいただければ幸いです。

仙台市議会議員（若林区） 菊地たかよし

全力復興。そして、新しい仙台へ

● 被災者の生活再建

● 防災集団移転（東部地域636宅地）

移転先6地区（181）⇒ **宅地決定**

さらに7地区（455）⇒ **27年3月末頃から供給開始の予定**

● 復興公営住宅（全3,206戸）

これまで **728戸**が**整備完了**

さらに**2,478戸**が**27年4月頃から入居開始の予定**

▲防災集団移転の説明会と、配布資料

H27年12月6日開通！

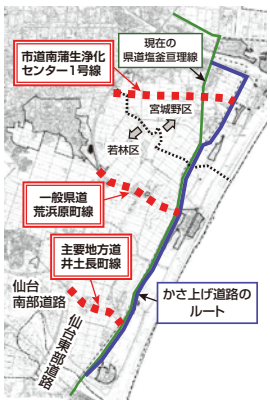
▲東西線の新車両がいよいよ仙台に到着

IC乗車カード《イクスカ》の発展性

IC 乗車カードを科学館や水族館、駐車場などにも利用出来るようにすることで、交通機関の利用促進のみならずそれぞれの施設のリピーターも増え、地域に賑わいと経済効果ももたらされると考えます。こうしたシステム拡張について、菊地は数度にわたり議会で提言しています。

● 災害避難道路

大雨、竜巻、巨大台風等、近年の各種大規模災害を想定した（自治体間にまたがる）広域避難計画の整備や、都市整備道路の見直しが求められます。



【整備事業の概要】

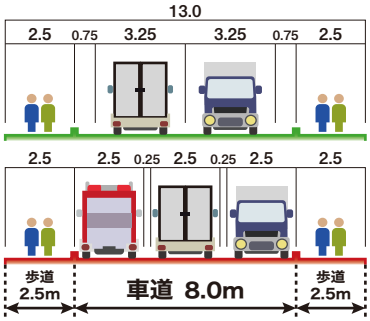
- 主要な避難道路として3車線（右上図）を位置づけ、円滑な避難が出来るよう整備する。
- 整備区間はかさ上げ道路接続部から仙台東部道路交差部とする。

【スケジュール】

※平成30年度の供用を目指し実施。

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
調査・設計	測量調査 詳細設計				
用地取得		用地取得			
工　事		改良工事			

【計画幅員】



車道 ⇒ 大型車等が路肩に停車した場合でも車両のすれ違いができる8mを確保

歩道 ⇒ 集落等歩行者が多い区間は両側歩道を整備
⇒ それ以外の区間は片側歩道を整備

実効性ある避難道路や施設など、今後も指摘・提言して参ります。

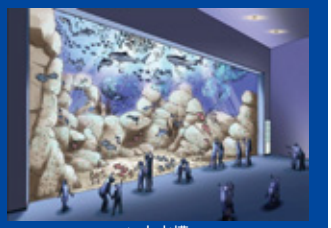
荒井駅 ― 若林体育館前 ― 狐塚 ― 賀茂皇神社前 ― 白鳥二丁目 ― （仮）水族館 ― アウトレット仙台港 ― 夢メッセみやぎ前 ― 仙台港フェリーターミナル入口 ― イオン多賀城店前 ― JR多賀城駅

バス路線再編により新設される運行経路の主要停留所（東部、宮城交通）

平成25年６月の第二回定例会等において、地下鉄東西線を軸としたまちづくりの屋台骨となる交通再編にあたっては、**地下鉄沿線の各基点となる駅と民間施設等のバス運行による接続が不可欠**である旨を、継続的に指摘してきました（市政報告誌前号にて紹介）。前頁見直し案で新設が決定したバス路線には、そうした着意も反映されています。

▼水族館の名称が、『仙台うみの杜水族館』に正式決定

▲外観予想図



▲大水槽

仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

仙台発“地方創生”が、東北の未来を切り拓く。

日本創生会議が、『2040年には全国市町村の約半数が消滅する』とのショッキングなレポートを発表。東北の中心都市として、仙台市はまさに“東北の最後の砦”と呼ぶに相応しい、重い責務を担っています。

▲地方創生の取り組みが加速してゆく中、地方から国へ、より積極的な政策提言が求められます。

『東北の牽引役』に求められるもの

（2014年９月16日 第３回定例会 一般質問）

菊地

本市は東北唯一の政令市として、本市（の経済や人材）を支えてくれている東北所在 227 市町村との共存・共栄を期し、国との交渉窓口の役割を果たすことが求められる。各中核市と連携し、それぞれの周辺市町村の現在及び将来についての意見集約・政策提案のための協議組織を構成し、国の地方再生策に積極・能動的に応じていくべきである。

ある程度の人口規模を持つ都市を中核にして広域的ネットワークの中で相互に役割分担しつつ都市圏として成長するのが大きな方向性と思うが、今後とも東北市長会各市と協議して参りたい。

市長

●《国家戦略特区》へ、仙台市独自の提案申請が実現

菊地は昨年夏の中央政策立ち上げ直後から、本市独自の国家戦略特区案の申請を訴えてきました（市政報告誌前号にて紹介）。

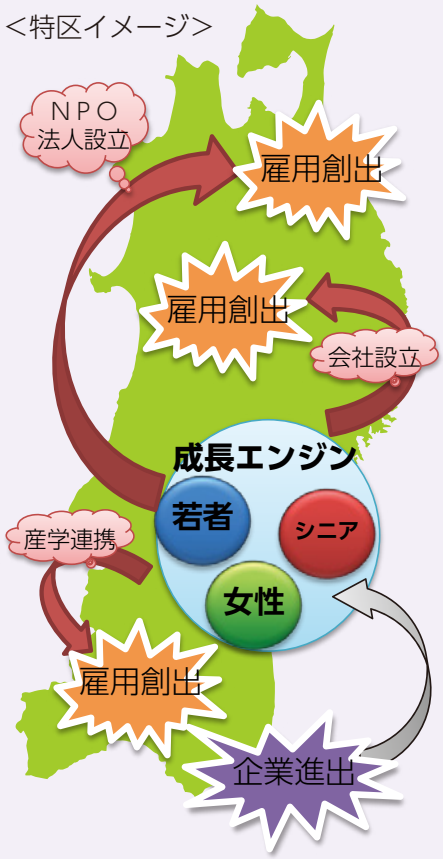
こうした提言を受け、仙台市は本年8月25日、『ソーシャル・イノベーション創生特区』という名称の新たな提案を、内閣府に申請しました。

《ソーシャル・イノベーション創生特区の提案の概要》

① ＮＰＯ法人設立認定手続きの迅速化 ② 起業に必要な多岐にわたる各法令等の窓口一本化（規制緩和）	地元ベンチャー企業から購入した場合、損金として計上が可能（※現在はできない）	育児休業の複数回取得の要件緩和等
設立手続きの迅速・容易化	ベンチャー企業の経営の安定化と、雇用の拡大	女性の社会参加を促進

※ 国家戦略特区とは？

国家戦略特区法案により設定される、いわゆるアベノミクスの『第三の矢』の、成長戦略の柱の一つ。企業等にとって『不便』な規制を緩め、より動きやすい環境を整えることで、経済の成長を加速させたいとしています。



これからの日本の先導的なモデルへ！

地方の活力のため、さらなる挑戦を

（2014年９月16日 第３回定例会 一般質問）

菊地

国家戦略特区制度への『ソーシャル・イノベーション創生特区』提案は、東北からの人口流出を防ぎ地方に活力を取り戻すものと評価する。今後、科学・文化・エネルギー分野（バイオマス藻類、メタンハイドレートなど）においても、次の矢を放つべき。

東京への一極集中が懸念される中、本市が東北の中枢として活力を維持するため、大胆な規制緩和が受けられる本特区制度を提案した。本市で創業・確立したビジネスモデルが東北各地で展開されることも期待でき、併せて市域外へ雇用が拡大することを目指したい。まずは、特区指定に全力を尽くす。

市側

▲今年、その大部分の復旧が成った農地。
震災前の実り豊かな美しい姿を徐々に取り戻しつつある仙台市東部の田園風景も、地方創生への大いなる期待と可能性を感じさせてくれるものです。

手を携え合い、より強く、生きてゆくために。

● 国連防災世界会議の開催近づく

◆ 国連防災会議は、国連加盟国（１９３カ国）、国際機関等が参加し、今後の世界の防災戦略を策定する会議です。

◆ 今回は平成２７年３月１４日から１８日にかけて仙台市で開催され、日本の優れた防災ノウハウを紹介すると共に、東日本大震災の貴重な経験と教訓を世界に発信します。

World Conference on Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

※ 第３回国連防災世界会議
公式ロゴマーク

◆ 国連の本体会議のほか、市内外の各会場において、政府・自治体・各団体等による復興・防災のシンポジウムや展示、被災地視察、歓迎行事や観光物産展などが、数多く開催される予定です。（延べ４万人の参加が見込まれます。）

感染症等にも万全の備えを

（2014年９月24日 決算等審査特別委員会）

菊地

国連防災世界会議等で海外の多くの方々を迎えるにあたっては、**エボラ出血熱等感染症の水際対策**をはじめ、様々な脅威への備えを油断なく整えるべき。

市側

入国時の検疫・隔離等の措置を基本とし、国際センターへの医師の常駐等、皆様に安心していただける体制づくりへ向け具体的な協議を進めている。

▲ 防災訓練で、地域防災力の向上を図る。
良好なコミュニティの形成は、災害時のみならず普段からの地域の安全安心、児童生徒の健全育成等にも力を発揮します。

ここが言いたい ―仙台市の防災が向かうべき方向―

仙台市が掲げる自助・共助を旨とする災害行動の実践には、**当事者それぞれが向かうべき方向を定めた防災条例、理念が必要です。**

多様な考えや経験を有する１０７万市民が同じベクトルに向かうための、本市としての指針が早急に示されるべきと考えます。

（２５･２６年３月の予算等審査特別委員会で質疑）

● 新仙台市立病院が開院

⇒大規模災害時にも支障なく医療活動ができるよう、**災害拠点病院としての機能も強化**されています。

※今後も、仙台市立病院の体制の充実（精神科・感染症対策）に向けて、提言する予定です。

●外来受診は「紹介・予約制外来」です

新仙台市立病院は、円滑な診療や患者の負担軽減のため外来受診が**「紹介・予約制」**（小児科を除く）となります。

●『仙台夜間休日こども急病診療所』を設置

急患センターの小児科部門を、新病院１階に移転しました。 お問い合わせ▶ **電話／ 022-247-7035**

菊地 崇良（たかよし）プロフィール

- 昭和43年　宮城県仙台市 生まれ
- 仙台市立七郷小学校／蒲町中学校／宮城県仙台第一高等学校（高39回）
  東北学院大学法学部　卒業
- 陸上自衛隊に入隊
  第一線部隊、東北方面総監部、防衛省陸上幕僚監部などで約18年間勤務
- 平成22年12月　二等陸佐（中佐）で退官
- 平成23年 8月　若林区選挙区にて初当選
- **役職**
  都市整備建設副委員長、次世代育成調査特別委員、
  社会教育委員、科学館協議会委員
  北朝鮮に拉致された日本人を救出支援する仙台市議会議員連盟 事務局長
  仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進協議会委員
  東北・新市議会議員研究会 代表世話人
  自由民主党宮城県支部連合会 政調副会長・中小企業支援対策副本部長
  全国・宮城県「武の会」東北ブロック担当
  防災士、社会貢献福祉士 ほか

● 議会における質疑応答については、一部を抜粋・要約して掲載しています。
● 細部についてはお問い合わせ下さい。

菊地たかよし事務所

TEL 022-390-4105
FAX 022-288-2342
〒984-0038
仙台市若林区伊在字前通15-2
Eメール：
takayoshi.kikuchi6231@gmail.com
ホームページ：
http://kikuchitakayoshi.web.fc2.com/top.html

《再生紙を使用しています》